

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「当地在留邦人からの寄稿」
- 4 「領事便り」
- 5 「広報・文化便り」
- 6 「日本関連行事等のお知らせ」
- 7 「ケベック州・大西洋4州政治経済情勢」

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

ようやく少し温かくなってきましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

日本では、新しい元号「令和」が発表されました。この元号には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められています。そして、5月1日に新しい天皇陛下が即位されます。令和の時代の始まりです。

在モンリオール総領事館としては、新しい天皇陛下の即位を祝して、祝賀記帳を受け付けることとしました。また、後日、新しい天皇陛下の即位を祝してお祝いの行事を催す予定です。

総領事の業務としては、先日、ニューブランズウィック州を公式訪問し、ヒッグス州首相やギター州議会議長への表敬、地元の連邦議員との意見交換等を行いました。今回も州議会の正面に日本の国旗を掲揚して頂きました。また、フレデリクトンとモンクトンで在留邦人の方々との意見交換をさせて頂きましたが、毎年、夏期に地元の大学に多くの日本人学生が短期留学されるそうで、交流が活発に行われていると聞き、うれしく思いました。

邦人の皆様の関心の高い当地の医療事情については、先般、マギル大学の高野朋子先生に、特にケベックの医療事情について講演を頂きました。先生の了解を頂いて、その講演の内容を当館のホームページの「医療事情」に掲載しましたので、皆様のご参考にしてください。

当地に赴任してから半年が経ちました。これまで総領事職を何とか恙なく務めることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。引き続き邦人の皆様の力になれるよう頑張ります。

2 総領事館からのお知らせ

(1) 2019年4月、5月の休館日のお知らせ

4月19日(金) Good Friday

4月22日(月) Easter Monday

5月 1日(水) 天皇の即位の日

5月20日(月) National Patriot's Day

(2) 新天皇陛下御即位を記念する祝賀記帳の受け付け(お知らせ)

在モンリオール日本国総領事館では、新天皇陛下の御即位を記念する祝賀記帳を以下の通りお受けします。

場所：在モンリオール日本国総領事館待合室内

期間：2019年5月2日（木）～10日（金）

※4日（土）、5日（日）は除く

時間：10時～12時、14時～16時

3 当地在留邦人からの寄稿

【私の履歴書 ～モンリオール日本語補習校 元校長 井上満男～】

1967年6月、横浜港大棧橋からイギリスの客船オロンセイ号に乗って初めて日本を離れた時は、50年以上もこのモンリオールで暮らすようになるとは夢にも思っていなかった。岸壁を離れて1時間も経つのに、見送りの家族達の顔がまだ見えるほど悠長な船出であった。それから2週間、太平洋の青い海と青い空を見飽きた頃ヴァンクーバーへ。そこからカナダ大陸横断鉄道に乗り換えてまた1週間、モンリオールに着いた時はもう7月も半ばになっていた。その2年前、東京で開かれていたコロイド及び界面科学の国際学会に当時その分野では有名だったマギル大学のメイソン教授が来日、学会後都立大学物理化学研究室を訪れたのだった。つたない英語で自分の研究内容を説明したのがきっかけで、マギル大学に留学することになってしまった。

当時モンリオールはカナダ最大の都会で、カナダ建国百年祭と万国博覧会 EXP067 が同時に催され大変な活気だった。長旅の荷を解いたのはマギル大学の男子寮だった。当時、食堂と応接室以外は女性禁止で日曜日の夕食は背広とネクタイの着用が義務付けられていた。しかし日本の学生寮からは想像も出来ないほど明るく清潔で、マウントロイヤルの森に囲まれた寮の眼下にはモンリオールの街が広がり、セントローレンス河のはるか先にモンブルノとモンサンティレアまでも見渡せた。私の研究室はマギル大学構内の紙パルプ研究所内にあり、毎日寮から研究所へ歩いて通った。ユニヴァーシティ通りの中ほどには有名なモンリオール脳神経病院があった。

そこで看護婦として働いていた今の妻にめぐり合いそして結婚、日本に帰国する気持ちは次第に薄れて行った。幸い3人の子供にも恵まれ、長男が7歳の就学年齢になった時モンリオール日本語補習校の存在を知った。小学1年生の保護者として1年が過ぎようとしていた頃、当時の林運営委員長に話しかけられた。「教員免許状もっていますか？」「はい」それがきっかけで補習校の算数と理科の先生になってしまった。算数の先生が1人辞めたのである。それが25年に渡る補習校との長い付き合いの始まりであった。

マギル大学は医学部が特に有名で、日本からかなりの医学研究者が短期滞在していた。その研究者達をサポートする為にアカデミー会という集まりがあった。その会は1963年にロイヤルヴィクトリア病院の柴田教授とモンリオール脳神経病院の山本教授によって創設され運営されてい

た。会に属して数年経った頃、突然柴田会長にその会の運営を頼まれた。定例のセミナーや会員家族の交流のためのピクニック等を計画し実行するのが主な仕事だった。当時、モンリオールに長年住んでいたアカデミー会のメンバーは非常に少なかったのである。研究、補習校、そしてアカデミー会とモンリオールの生活は次第に忙しくなっていた。

しかし、歴史の流れはこうした生活にも徐々に暗い影を落とし始めていた。1976年ケベコワ党が政権をとって以来、モンリオールは次第に大きなケベック独立運動の波に飲み込まれていった。マギル大学は英国系カナダの象徴と見なされ、時々デモ隊が構内に乱入する様になった。身の危険を感じると共に、研究にも支障をきたすのではないかと危ぶまれた。研究結果を守るため、実験記録ノート等はすべて各自で自宅保管せよとの指令が出された。カナダ第一の都会だったモンリオールは1980年代になってから次第にその華やかさを失って行き、日本の大手商社や銀行は次々に店を閉めトロントやニューヨークに移っていった。それに伴い補習校の生徒数は徐々に減り、一時は50人を下回る状態に追い込まれたのだった。補習校の運営に大きな負担がかかってきた。運営委員会は大きな決断を迫られた。当時の仲田運営委員長はついに学校運営だけに集中する事を決心し、教務運営は教師の中から選ばれた専任校長に任せる事になった。そして、モンリオール補習校の初代専任校長に選ばれたのである。

校長になって最初の大きな仕事は、借用校舎の見直しであった。それまでウエストマウントパークスクールを使用していたのだが、高い貸借料を削減するため新たな校舎探しをすることになった。そして多くの学校を下見し交渉を重ねた末、今のトラファルガー女子高校に移った。次に、生徒数を確保するために新たな思索が練られた。その結果、入学資格の範囲を広げ駐在員の子弟以外に国際結婚者の子弟をも受け入れる方針が変わった。ただし授業学習のレベルを維持する為に、入学試験を導入するという条件付だった。小学1年担当、2年担当そして校長3名で、あどけない子供達を面接するのである。何人かの児童は入学できなかったし、また入学した児童も進学する際は厳しい審査があった。この時期は補習校にとっては大きな危機であったし、また校長にとっても一番つらい時期であった。この方針は幸いなことに保護者の理解を得られ、徐々に生徒数も盛り返していった。

コンピューター時代の波は、紙パルプ研究所の研究課題にも大きな影響をあたえた。それまでの新聞紙や一般印刷紙よりも、インクジェットやゼロックス印刷等のコピー用紙に重きが置かれるようになった。私自身も次第にデジタル用紙の印刷特性の基礎研究に没頭するようになっていった。研究以外に、技術指導の為に西はブリティッシュコロンビア州から東はニューファンドランド州まで多くの製紙工場を訪問した。中でも記憶に残るのは、モンリオール郊外ボハノアにあったカナダ銀行の紙幣用の紙を生産する工場であった。青い使い古しのジーンズが再生されて紙幣用の紙になっていく工程はちょっとした驚きだった。2011年以降カナダの紙幣は次第に紙からポリマー膜に代わってしまったが、以前はまだ紙を使用していたのである。

補習校校長になってからケベック州日本語弁論大会に審査員委員長として招かれるようになった。ケベック州の大学で日本語を学んでいる学生たちの発表の場だ。自分の意見をたどたどしい

日本語で発表する学生達の真剣な姿は、初めてメイソン教授と出会った時の私自身と重なって感動することも少なくなかった。

毎週5日間の研究生活と土曜日の補習校生活は大変忙しかった。しかし、研究結果が実際に役立つ記事を見たり、補習校の卒業生達の活躍ぶりを風の便りに聞くたびに、大きな満足感があった。研究所や補習校を退職した今私の履歴を振り返ってみると、それは私が自力で開拓してきたというより何か運命の流れに乗せられてきたような気がする。そんな自分にも何となく素直に納得出来るのである。(文責：井上満男)

4 領事便り

(1) 当館管轄州での6月の領事出張サービスについて

当館では、モンリオールから離れた地域にお住まいの皆様のために、領事出張サービスを実施しています。

6月の領事出張サービスについて、以下の日程で実施しますので、お知らせいたします。

近隣にお住まいの皆様におかれましては、是非この機会をご利用くださいますよう宜しくお願いいたします。

○ケベック市領事出張サービス

日時 : 2019年6月9日(日) 午前10時~午後12時, 午後1時~午後3時

場所 : Holiday Inn Express Quebec Sainte-Foy

住所 : 3145 Avenue des Hotels, Quebec, QC, G1W 3Z7

申込締切 : 2019年5月29日(水)

【詳細】 https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_QC_20190609.html

○シャーロットタウン領事出張サービス

日時 : 2019年6月15日(土) 午前10時~午後12時, 午後1時~午後2時30分

場所 : The Hotel on Pownal

住所 : 146 Pownal Street, Charlottetown, PEI, C1A 3W6

申込締切 : 2019年6月5日(水)

【詳細】 https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_PEI_20190615.html

平成31年度の領事出張サービス実施予定については、こちらをご確認ください。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday.html>

領事出張サービスに関するご照会は、当館領事班までお問合せください。

電話 : 514-866-3429 (代)

E-mail : consul@mt.mofa.go.jp

5 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（culture@mt.mofa.go.jp）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

（１）日加修好90周年記念事業の募集

2019年は、2018年に続いて、日本とカナダが外交関係設立90年目を祝います。これは2018年が日本の公使館をカナダに設立して90年目に当たり、2019年がカナダの公使館を日本に設立して90年目に当たるためです。日加両首脳により「日加協力新時代」と名付けられた日加関係を、両国間の幅広い協力・交流を通じて一層盛り上げていくため、今年も引き続き日加修好90周年を記念するにふさわしい事業を募集し、「日加修好90周年記念事業」として認定します。周年事業として認定された事業は、広報媒体（ポスター、パンフレット、チラシ、プログラム、ウェブサイト、看板、垂れ幕等）に「日加修好90周年事業」の名称と新しいロゴマークを使用いただくことができるほか、管轄地区にある大使館又は総領事館の「日加修好90周年記念行事カレンダー」に掲載されることとなります。奮って御参加ください。

日加修好90周年記念事業の認定基準、申請方法等、詳細はこちらからご確認ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_event_2019.html

（２）日加修好90周年事業

落語口演

日本で活躍するフランス人落語家シジル・コピーニ氏による落語口演を開催します。前半30分が落語解説（仏語）、後半30分が口演（日仏語）です。入場無料ですが、事前登録（自由席）が必要です。

ア 5月2日（木）13時半～14時半

場所：モントリオール大学

3200 rue Jean-brillant, B-3260, Montreal

事前登録先：culture@mt.mofa.go.jp

*お名前、どちらの口演に何名でご参加希望か、メールにてご連絡ください。

イ 5月2日（木）18時～19時

場所：モントリオール日系文化会館

8155 rue Rousselot, Montreal

事前登録先：culture@mt.mofa.go.jp

*お名前、どちらの口演に何名でご参加希望か、メールにてご連絡ください。

ウ 5月3日（金）14時～15時

場所：モントリオール美術館

Le Salon, Musee des beaux-arts de Montreal

*モントリオール美術館のウェブサイトより事前登録ください。

<https://www.mbam.qc.ca/calendrier/en/?post=rakugo-performance>

6 日本関連行事等のお知らせ

*以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

*外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様への御参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんので御了承ください。

(1) 日加修好90周年記念事業

ア ラヴァル大学でのイベント（ケベック市）

(ア) 日仏語ランゲージエクステンジ

日時：（隔週月曜日）2月4日，18日，3月4日，18日，4月1日，15日，29日，
5月13日，27日，6月10日

（仏語）19時～19時45分 （日本語）19時45分～20時30分

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

参加無料

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-immersion-francaise-japonaise>

(イ) 端午の節句

鎧兜等、端午の節句にちなんだ折り紙作りを行います。

日時：5月5日（日）13時～15時

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-fete-japonaise-des-enfants#contenu>

(ウ) エスパス・ジャポン書道部による書道展示会

寺小鳳先生指導のラヴァル大学エスパス・ジャポン書道部の生徒による作品の展示会が行われます。

日時：9月29日（日）～12月15日（日）

場所：ラヴァル大学図書館 4 階
Bibliothèque de l'Université Laval
Pavillon J.-C. -Bonenfant, niveau 4

イ 展示会「Un hommage au New Yorker」

雑誌「The New Yorker」のオマージュで、「The Tokyoiter」「The Parisianer」「Le Montrealer」のイラストレーションの展示が行われます。

期間：3月29日（金）～6月9日（日）

場所：Maison de la culture Notre-Dame-de-Grace de Montreal
3755, rue Botrel, Montreal

無料

詳細はこちらからご確認ください。

http://www.accesculture.com/activite/UN_HOMMAGE_AU_NEW_YORKER

ウ ケベック—日本友好協会主催「落語会」（ケベック市）

日本で活躍するフランス人落語家シジル・コピーニ氏とケベック在住落語家マルタン・サヴァー氏による落語会が開催されます。（日本語及びフランス語。）入場は無料ですが、事前予約が必要です。先着55名まで予約を受け付けます（自由席）。

日時：4月28日（日）開場13時、開演13時半

場所：Theatre de poche du Pavillon Desjardins / Pollack a l' Université Laval

申込先：quebecjapon2018@gmail.com

詳細はこちらからご確認ください。

https://www.facebook.com/associationdamiciequebecJapon/?modal=admin_todo_tour

エ 草月流生け花展示会「Surprise！」（ノバスコシア州）

日時：5月10日（金）12時～17時、11日（土）10時～17時（14時半：生け花デモンストレーション）、12日（日）14時～17時

場所：ケッシュェングッドマン図書館

Keshen Goodman Public Library

330 Lacewood Dr, Halifax, NS

無料

オ モントリオール市立植物園でのイベント（植物園入園料がかかります。）

（ア）日本館展示「Hiroshima, la vie en heritage」

モントリオール市と姉妹都市でもある広島市に関する展示が行われます。

期間：5月15日（水）～10月31日（木）

場所：モントリオール市立植物園日本館

4101 rue Sherbrooke Est, Montreal

問合せ先：514-872-0607

詳細はこちらからご確認ください。

<http://calendrier.espacepourlavie.ca/hiroshima-the-legacy-of-life-857793>

(イ) お花見ピクニック

参加には事前予約（予約受付期間：4月15日～5月13日）が必要です。

日時：5月19日（日）11時半～15時半

場所：モントリオール市立植物園日本庭園

4101 rue Sherbrooke Est, Montreal

予約・問合せ先：514-872-0607

<http://calendrier.espacepourlavie.ca/o-hanami-picnic-under-the-flowering-crabapple-trees>

カ 草月流生け花展示会「Connecting！」（ノバスコシア州）

日時：6月1日（土）10時～17時（14時：生け花デモンストレーション）、2日（日）12時～16時

場所：ルーネンバーグ図書館

Lunenburg Library, Lunenburg Academy, First Floor, 97 Kaulbach St, Lunenburg,

NS

無料

(2) その他のイベント

ア 裏千家淡交会茶道教室（ケベック市）

（春のコース）4月6日～6月8日 毎週土曜日計10回

10時～12時半（初級レベル1と中級）13時～16時（初級レベル2）

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval,

Pavillon J.-C.-Bonenfant, Espace Japon, niveau 00

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-cours-ceremonie>

イ 麴から作る・味噌作りワークショップ（ノバスコシア州）

事前登録が必要です。

(ア) ディグビー (Digby)

日時：4月28日（日）10時～15時

参加費：70ドル（早割有）+オプション・持ち帰り味噌15ドルから（未熟成）

(イ) ハリファックス

日時：6月1日（土）9時半～14時半

場所：Halifax Shambhala Centre (1084 Tower Road, Halifax)

参加費：100ドル（早割有）+オプション・持ち帰り味噌15ドルから（未熟成）

詳細はこちらからご確認ください。

<https://ordinaryfamilyfoodlife.ca/news/miso-making-workshop-spring-2019-digby-halifax/>

ウ 生け花インターナショナル4月例会

Diane Eggleton氏による草月流デモンストレーションが行われます。

日時：4月30日（火）13時

場所：Mountainside United Church

687 Avenue Roslyn, Westmount（電話：514-486-1165）

参加費：20ドル

連絡先：田中和子氏 montrealikebana77@gmail.com

エ 裏千家茶道クーパー教室主催「和みの茶会」

日時：5月5日（日）

第1回12時～13時，第2回13時～14時，第3回14時～15時

場所：1070, Saint-Mathieu St, Montreal

※入り口は建物の裏側（Rue Joseph-Manseau側）です。

会費：8ドル（お茶・お菓子含む）

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.instagram.com/nagominocha/>

<https://m.facebook.com/Japanese-tea-ceremony-Club-Cooper-1947259325364089/>

オ 濱口竜介レトロスペクティブ「The Theatre of Emotions」

濱口竜介監督の映画がシリーズで上映されます。監督ご本人の舞台挨拶があるほか、マスタークラスも行われます。

映画上映：5月9日（木）～13日（月）

マスタークラス：5月12日（日）17時15分

場所：Cinema Moderne

5150 St-Laurent Blvd. Montreal

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.cinemamoderne.com/en/series/details/ryusuke-hamaguchi-retrospective-the-theatre-of-emotions/>

カ モントリオール日系文化会館春のバザー

日時：5月11日（土）11時半～16時

場所：モントリオール日系文化会館

8155 rue Rousselot, Montreal

キ Next Music From Tokyo vol. 14

日本のインディーズバンドによるライブです。

日時：5月15日（水）開場19時，開演20時

場所：Petit Campus

57 Prince-Arthur Est, Montreal

詳細はこちらからご確認ください。 <https://www.nextmusicfromtokyo.com/shows>

ク コンサート「Brise Japonaise」

五老海幸氏（フルート，篠笛），平塚夏生氏（ピアノ）によるコンサートが行われます。作曲家武満徹，宮城道雄，山田麗子などの楽曲等，日本の曲が中心のプログラムです。

日時：5月16日（木）20時

場所：Jeunesses Musicales Canada

305 Mont-Royal Avenue, Montreal

チケット：20ドル

詳細はこちらからご確認ください。

<https://accesasie.com/semaine-3/?lang=en>

ケ 公演：「阿国」

演劇，和楽器，アニメーションで綴る歌舞伎の創始者「出雲阿国」の物語。演出・制作：Sylvie Belleau，出演：安原嘉代，草野幸吉，Elisabeth Caty，アニメーション：青木義乃。5月7日よりチケット販売開始。

日時：5月23日（木）19時半

場所：Maison de la culture Ahuntsic-Cartierville

10300 rue Lajeunesse, Montreal

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.accesculture.com/activite/OKUNI>

コ 生け花インターナショナルモントリオール支部華道展

「Ikebana, l'ART des fleurs/ Ikebana, the ART of Flowers」

日時：6月1日（土）～2日（日）10時～18時

場所：モントリオール市立植物園日本館トヨタホール

4101, rue Sherbrooke Est, Montreal

（植物園入園料がかかります。）

詳細はこちらからご確認ください。

<http://calendrier.espacepourlavie.ca/ikebana-the-art-of-flowers-865414>

7 ケベック州・大西洋4州政治経済情勢

(1) 政治

ア ケベック (QC) 州

- ・ 3月6日, プルドム・ケベック州警察長官が刑事犯罪疑惑により停職処分。
- ・ 3月12日, フルニエ州議会議員 (マリー=ヴィクトラン選挙区選出) がケベック党から離党し無所属となる旨表明。これにより, ケベック党の州議会における議席数は9議席となった。20日, 同党は正式に州自由党, ケベック連帯に次ぐ野党第3党に降格。
- ・ 3月13日, ラボーム・ケベック市長は前立腺がんの治療のため公務を調整する旨発表。
- ・ 3月14日, ムツミ・タカハシCTVアナウンサーがカナダ勲章を受賞。
- ・ 3月16日, ブランシェ・ブロック・ケベコワ (BQ) 党首は, 党大会でケベック州の独立達成まで党としての役割を果たしていくと発言。
- ・ 3月20日, マッカン州保健・社会サービス大臣は, 連邦政府が2019年度予算で発表した連邦政府主導の薬保険制度導入プロジェクトについて, 薬保険制度は州政府の管轄であるとして連邦政府のプロジェクトを拒否。
- ・ 3月20日, モントリオール市は, 現在市議会の議場内に掲示されているキリストの十字架像は, 3年後の市庁舎改修完了後には再設置されない旨発表。
- ・ 3月21日, ケベック州政府が2019年度予算を発表。均衡予算だが, 教育と保健分野で予算増。
- ・ 3月22日, ケベック州政府は, 2025年までに州民一人当たりの水道消費量を20%削減する目標を発表。
- ・ 3月26日, 仏語圏国際機関 (OIF) の理事にケベック州出身のカノ氏が就任。理事は事務総長に次ぐナンバー2の地位。
- ・ 3月28日, バレット州移民・多様性大臣は, 警官, 公立校教員を含む公職従事者による宗教的シンボル着用禁止等を規定した政教分離に関する法案21を州議会に提出。
- ・ 3月28日, プラント・モントリオール市長は, 州議会で審議されている法案21は地方自治を無視したものであり, カナダ権利自由憲章に違反しているとし強い懸念を表明。
- ・ 3月28日, 州議会は, 法案21の可決後に州議会内にあるキリストの十字架像撤去を求める動議を満場一致で可決。
- ・ 3月29日, モントリオール市執行委員会人事異動にともない, トウリエ市議, ブルジョワ市議が新たに就任。
- ・ 3月31日, ルゴー州首相は審議中の法案21について, 10年来議論されてきた問題に明確なルールを制定するべき時が来たと, 州首相の公式ウェブサイトとフェイスブックを通じて州民に呼びかけた。

イ ニューファンドランド・ラブラドール (NL) 州

- ・ 3月1日, レト州環境大臣は, 気候変動対策5か年計画を発表。州の基幹産業である石油・ガス開発を妨げることなく温室効果ガス排出削減に取り組む内容。
- ・ 3月5日, ロジャース州NDP党首辞任にともない, 経済学者のアリソン・コフィン氏が新党首に任命。

ウ プリンズエドワードアイランド（PEI）州

・ 3月5～7日、伊澤総領事のPEI州公式訪問。ペリー副総督への表敬、マクローラン州首相、ワッツ州議会議員、ブラウン・シャーロットタウン市長、日系企業視察、イースター連邦下院議員、日系コミュニティとの意見交換等実施。

・ 3月15日、州政府と連邦政府は、地方部における高速インターネット接続を可能にするためのインフラ整備計画を発表。連邦政府が3,310万加ドル、州政府が350万加ドル、残りの3,700万加ドルはベル・カナダとエクスプロネット（NB企業）が負担し、30,000世帯に光ファイバーと固定無線アクセスシステム（FWA）を組み合わせた高速インターネット環境を提供する。

・ マクローラン州首相は、4月23日に州議会総選挙を実施すると発表。現在の単純小選挙区制から小選挙区比例代表併用制への変更是非を問う州民投票も同時に実施される。

エ ノバスコシア（NS）州

・ 3月12日、州政府は、今春に予定されていた州出身画家モード・ルイスの絵画展開催を延期する旨、中国・広東省美術館から連絡を受けたと発表。延期の理由や新たな日程等は明らかにされていない。

・ 3月14日、ランキン州国土・森林大臣は、生物多様性法案を州議会に提出。既存の複数の関連法のギャップを埋め、より良い生態系保全と野生種保護を目指すもので、可決されればカナダ初となる。

・ 3月26日、ケイシー州財務大臣が2019年度予算を発表。歳出109.8億加ドル、3,360万加ドルの黒字、4年連続の均衡財政となる見込み。

オ ニューブランズウィック（NB）州

・ 3月1日、州政府によるNB州孔子学院の閉鎖可能性について、在カナダ中国大使館は、NB州孔子学院のプログラムには政治的な目的はないとして、州政府に再考を求めた。

・ 3月15日、ケヴィン・ヴィッカーズ氏が州自由党党首への立候補を正式に表明。同氏は2014年カナダ連邦議会銃乱射事件発生時に連邦下院議会守衛官として容疑者を阻止し、その後駐アイルランド大使を務めた。

・ 3月19日、スティーヴス財務大臣が、進歩保守党少数派政権にとって初めての予算となる2019年度予算を発表。歳入98億4,600万加ドル、歳出98億2,300万加ドルで2,300万加ドルの黒字を予想。

・ 3月22日、ヒッグス州首相は、NB州孔子学院に係る事案に関してチェン在モンリオール中国総領事と会談。同中国総領事はNB州政府の懸念に取り組むため、同学院プログラムを改善する用意がある旨述べると共に、NB州政府が孔子学院との契約を全うすることを期待する旨伝えた由。これに対し、ヒッグス州首相は合意し、同学院との契約に従う姿勢を示した。

（2）各州世論調査結果

ア 州議会選挙（政党支持率）

・ QC州（レジェ・マーケティング社調べ、3月8～11日）：ケベック未来連合44%、ケベック

ク自由党21%, ケベック党15%, ケベック連帯15%, その他5%

・QC州(メインストリート・リサーチ社調べ, 3月21日): ケベック未来連合45%, ケベック自由党22%, ケベック党15%, ケベック連帯10%, その他8%

・NL州(コーポレート・リサーチ・アソシエイツ(CRA)社調べ(以下同じ), 1月31~2月24日): 自由党45%, 進歩保守党(PC)38%, 新民主党(NDP)16%, その他0%

・PEI州(2月4~24日): 緑の党38%, PC29%, 自由党27%, NDP4%, その他2%

・PEI州(メインストリート・リサーチ社調べ, 3月23~24日): 緑の党35.9%, 自由党31.6%, PC27.5%, NDP3.7%

・NS州(コーポレート・リサーチ・アソシエイツ(CRA)社調べ(以下同じ), 1月31日~2月21日): 自由党37%, PC34%, NDP24%, 緑の党5%

・NB州(2月5~19日): PC42%, 自由党29%, 緑の党14%, ピープルズ・アライアンス9%, NDP6%, その他0%

イ 連邦議会選挙(政党支持率)

・QC州(イプソス社調べ, 3月1~4日): 自由党35%, 保守党29%, ブロック・ケベコワ(BQ)19%, 新民主党(NDP)14%, その他3%

・QC州(レジェ・マーケティング社調べ, 3月19~20日): 自由党32%, 保守党24%, BQ17%, NDP11%, PPC6%, 緑の党8%, その他2%

・QC州(メインストリート・リサーチ社調べ, 3月19~25日): 自由党40%, 保守党25%, BQ13%, NDP9%, 緑の党7%, その他6%

(3) 経済

ア QC州

・3月1日, ケベック州の約10万人の喫煙者が1998年に起こした集団訴訟で, 州控訴裁判所はJT傘下のJTIマクドナルドを含むたばこ会社3社に170億加ドルの賠償金の支払いを命じた。

・3月5日, 州エネルギー公社は, 4月1日から家庭向け電気料金の0.9%値上げを発表。

・3月7日, SNCラヴァラン社は, オタワ市のライトレール路線(LRT)の延長プロジェクトを6億6,000万加ドルで受注。

・3月7日, クラウドを使用した金融サービスを提供するトレーディングスクリーン社が, モントリオールに研究開発拠点を開設。

・3月8日, 特殊効果映像製作を手がける英国のアウトポストVFX社は国外で初となる制作拠点をモントリオール市内に開設。6ヶ月以内に40名, 2年で150名規模の雇用を予定。

・3月8日, ケベック州控訴裁判所から総額約170億加ドルの損害賠償支払いを命じる判決を受けたたばこ会社3者のうち, JTIマクドナルド社は, 会社更生手続きに相当する企業債権者調整法の適用を申請し, カナダ最高裁判所への控訴を検討。

・3月11日, サン=ジェロームのエレクトリック・ライオン社は電気大型トラック(クラス8)の完成を発表。

- ・ 3月12日、ITサービス大手のCGI社は、スウェーデンのテクノロジー・コンサルティング会社アカンドを6億1,400万加ドルで負債分も含めて買収。
- ・ 3月15日、気候変動対策を訴えモントリオール市内で数万人の学生がデモを実施。
- ・ 3月18日、行政サービスの改善にAI技術の導入を検討するモントリオール市は、富士通に200万加ドル相当の契約を発注予定。
- ・ 3月18日、ケベック預金・投資金庫(CDPQ)は、AI関連市場強化のため新たに2億5,000万加ドルの投資資金を拠出すると発表。
- ・ 3月20日、ボナルデル州運輸大臣は、高額なタクシー業運営ライセンス撤廃、ライドシェアサービスのウーバーを巡る枠組みづくり等の変更を盛り込んだタクシー業界の規制緩和を狙った法案17を提出。
- ・ 3月22日、モントリオール国際空港は2018年の空港利用率が前年比7%増、1,940万人を記録したと発表。
- ・ 3月26日、ソフトバンクが出資するネマスカ鉱山開発計画は当初の予算を超過したことから施設建設を一時中断することを決定。
- ・ 3月27日、ベンジオ・モントリオール大学教授兼ケベックAI研究所ディレクターに計算機学会からチューリング賞が授与されることが決定。同賞はコンピュータ科学界のノーベル賞として知られる。

イ NL州

- ・ 3月8日、州政府は、かつて中国の湖南有色傘下で2013年より休山状態にあった、ニューファンドランド島北東部ビーバー・ブルックのアンチモン(レアメタルの一種)鉱山が、中国のレアアース大手、五鉱稀土の支援を受けて稼働を再開すると発表。

ウ PEI州

- ・ 3月4日、連邦政府は、バイオテクノロジー企業バイオヴェクトラの施設拡張工事のために、ローンの形で3,750万加ドル支出する旨発表。当該支援によりPEI拠点には40人の雇用が創出される見込み。バイオヴェクトラは、世界中の製薬・バイオテクノロジー企業向けに医薬品有効成分(API)を製造している革新的な医薬品開発製造受託機関(CDMO)で、日本たばこ産業(JT)が製造するリオナ錠のAPIのサプライヤーでもある。
- ・ 3月11日、連邦政府は、州内6ヶ所に設置予定の電気自動車充電ステーションの建設費用73万加ドルのうち、30万加ドルを負担する旨発表。残りの43万加ドルは州政府が負担する。
- ・ 3月11日、アメリカ食品医薬品局(FDA)は、遺伝子組み換えサーモンの輸入禁止措置を解除。遺伝子組み換えサーモン養殖企業アクアバウンティ(米企業)は、今後州東部ベイ・フォーチュンで生産された卵を、米インディアナ州にある自社養殖場に出荷することを目指す。

エ NS州

- ・ 3月11日、NS州とNL州の14のファーストネーションと、NS州の水産大手クリアウォーターは、ホッキ貝漁に関する収益分配やトレーニング等を取り決めたパートナーシップ協定締結を発表。トルドー連邦政権は今年、先住民族との和解プロセスの一環として、クリアウォーター

ーが20年間独占してきたホッキ貝漁の漁獲枠の25%を先住民族に割り当てるための公募実施を目指しているが、同パートナーシップが25%の漁獲枠を獲得できた場合はクリアウォーターの独占が維持される見込み。

・3月25日、ハリファックスの電力企業エメラは、米メイン州における送配電事業を、カルガリー市営公社エンマックスに18億加ドルで売却。

オ NB州

・3月16日、水産大手のクック・アクアカルチャー（NB企業）は、ニカラグアのエビ養殖企業ファラヨン・アクアカルチャーを買収。19日、同社は次いで、米カリフォルニア州サンフランシスコの海産物卸企業オール・シーズ・ホールセールを買収。

[在モンリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なされないようお願いいたします。本メールマガジンに関する御意見・御要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 emagazine@mt.mofa.go.jp

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、 emagazine@mt.mofa.go.jp まで御連絡願います。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらを御利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願いいたします。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp）

当館ホームページ

（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook（www.facebook.com/JapanConsMontreal）

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333,

Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当

(emagazine@mt.mofa.go.jp) まで御相談ください。

